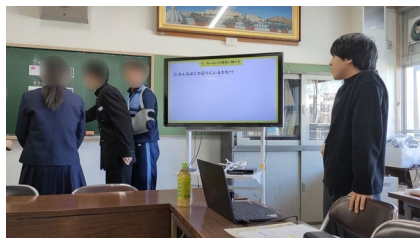


SDGs推進事業・人間分野

応援：明治安田「地元の応援募金」

事業名 ▶ 自閉スペクトラム症(ASD)の子供達の事を本質的に理解する講演・講習事業

法人名 ▶ NPO法人Re-each



活動内容

「発達障害」の理解を最大のテーマとして活動をしています。普段は主に、自閉スペクトラム症(ASD)という障害の当事者の声を保護者・支援者に届けてより良い支援に繋げてもらう活動を行っています。

事業取組

今回の補助金事業では、「①自閉スペクトラム症(ASD)の子供達の事を本質的に理解する講演」、「②自閉スペクトラム症(ASD)の子どもたちの理解を深める講演会」の2つを実施しました。どちらも同じASDというコミュニケーションや社会性に課題を抱える障害を扱い、保護者・支援者の方々に対して、同じ障害を抱える「当事者のリアルな声」を届け、理解を深め、支援に生かしていただく事を目的として行いました。

事業成果

どちらも終了後のアンケートで非常に高い評価をいただきました。講習終了後には、施設職員の方々から子どもの支援方法についてご意見やご助言をいただいています。今後はオンラインも使い、活動を広く行う予定です。

総事業費

367,508 円

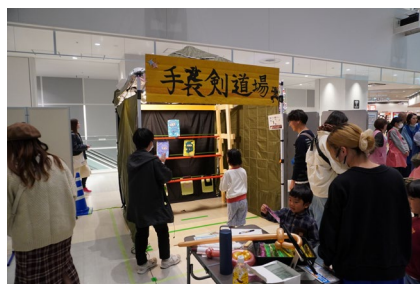
助成額

367,000 円

SDGs推進事業・人間分野

事業名 ▶ 所沢SecretBase(学生活動支援)

法人名 ▶ NPO法人子ども地域ネットワーク所沢



活動内容

学生の活動支援を通じ、地域との繋がりや社会経験の場を創出しています。不登校や引きこもりの方が安心して参加できる居場所作りを大切にしており、企画運営から当日のスタッフまで、各自のペースで参加できます。

事業取組

不登校の児童生徒や学生が主役となる体験事業を実施しました。7月のキャンプでは学生主体で運営し、自炊やレクを通じ協力体制を築きました。8月はピエロ鑑賞等に延べ600名、9月の祭りは手裏剣道場等の出店で地域と交流をし、11月はイタリアの高校生を招き、うどん作り等の日本文化を通じた国際交流を行いました。これらの活動を通じ、不登校生徒も店員として活躍できる機会や多様な学びの場を提供できました。

事業成果

分野を超えた支援のハブとしての強みが確立されました。今後はこの繋がりを活かし、不登校の方への学習・食事支援や、地域の専門家を招いた芸術体験など、より幅広いジャンルで孤立を防ぐ環境作りを推進します。

総事業費

704,621 円

助成額

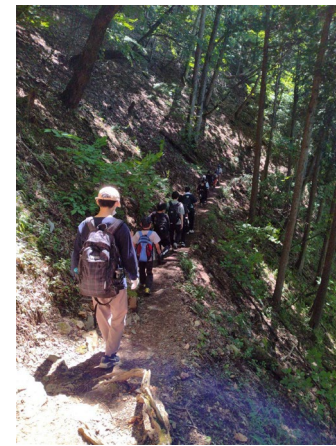
500,000 円

SDGs推進事業・地球分野

応援：金紋世界鷹 みどりと川の再生支援寄附

事業名 ▶ 水を育む山への恩返し 荒川源流域での森づくりと子供の森林体験

法人名 ▶ 特定非営利活動法人百年の森づくりの会



活動内容

「水を育む山への恩返し」をコンセプトに、秩父中心に苗を植え、育ちを見守り、森の動物を観察し子供達に森の恵みを伝えようと森林体験会を開催し、森・河・秩父を知らせようと講演会等を開催しています。

事業取組

埼玉県の最南部、和名倉山仁田小屋尾根(標高1,000~2,000m)に1回/月程度通い動物の動画データを回収しました。
長瀨宝登山では、親しみやすい森づくりを目指し、下草刈りや補植の準備作業を行いました。旧大滝小学校三峰分校では他の子供支援組織と協働し、様々な環境の子ども達に宿泊型森林体験会(三峰森の集い)を3回実施し、スタッフを含め77名が参加しました。三峰森の集い等の活動を写真を多く含む広報誌にまとめ、多くの組織や団体に配布しました。

事業成果

和名倉山の動物動画は当会のHPで公開、今後も動植物を含む森林生態系を観察していきます。
宝登山では植林地をめぐるハイキング道路の整備も進めていきます。
様々な子ども達に三峰森の集いを提供し、体験格差の解消にも貢献していきます。

総事業費

556,739 円

助成額

500,000 円

SDGs推進事業・人間分野

応援：埼玉県浦和競馬組合 社会貢献活動

事業名 ▶ すべての子に学べる環境を！

法人名 ▶ 特定非営利活動法人アシストさいたま



活動内容

子どもの健全育成のための活動(英語教室)に加え、子供の居場所づくり、学習補助、地域社会の健康推進事業(高齢者に対する体操教室の実施)を行っております。子どもの健全育成のための活動である英語教室においては、ハロウィンなどのイベントを楽しんでもらうことに加え、実用英語技能検定の準会場として指定を受け、さらには実用英語協会パートナー校の認定を受けましたので、地域に根付いた活動をし、地域の子どものための利便性を向上させるために尽力しています。

事業取組

物価の上昇など、経済格差のしわ寄せは子供にのしかかっているため、教育などで子供たちをサポートしながら親の負担も軽減していくための活動を行いました。具体的には子ども居場所づくりプロジェクトとして、学習教室、工作教室、初心者水泳教室を実施しました。学習教室では個別指導を行い、英語、算数、数学を中心に学習ニーズに応えました。気軽に相談できる場所としての居場所づくりも併せて行いました。水泳教室は、海なし県さいたま市における水泳授業は年々減り続け、泳げない子が増える中、閉鎖される市民プールがあるなど、泳げるようになる機会が失われているため、地域の課題として水泳教室は必要不可欠な活動だと実感しました。初心者者を優先に募集をかけたが、多くの問い合わせがありました。近隣だけではなく、埼玉県内の多くの場所からたくさんの親子が参加してくれました。

事業成果

学習支援教室においては、大変好評をいただき、予定回数では対応しきれず、居場所づくりと併せてほぼ毎日開室しました。自習室難民となっている中高生の話を聞き、自習室として部屋を解放することになり、現在も継続中です。自習しにくる子だけではなく、悩み相談など居場所としての役割も果たしています。水泳教室の開催については、地域のサークルと連携したことにより、一日で泳げるようになった子や水が怖くなくなった子など、感謝の声をたくさんいただきました。今後は地域活動として継続していくのはもちろんですが、相談者(大人、子供)の貴重な声を行政に届けていき、本当に助けを必要としているところに支援がいくようなシステムを作れるようにしたいです。

総事業費

730,040 円

助成額

500,000 円